

(連続セミナー 第3回)

グローバル・ダイアログ 北欧とつなぐ・地域子ども学の視点

Rethinking birth culture and childrearing: a global dialogue from Japan and Finland

2021年12月10日(金)

16時50分～18時30分(開場 16時30分)

ZOOM開催

日本とフィンランドの 出産・子育て文化 を考える

第1部「社会で子どもを育てるー日本の子育て支援を問う」

■ゲストスピーカー 木脇奈智子 藤女子大学教授(比較文化人類学 家族社会学)

第2部フィンランドにおけるマタニティ医療と子どもの健康支援：その歴史と現代的展開

Maternity clinics and child health clinics in Finland: historical roots and contemporary developments

■ゲストスピーカー Dr Anna Leppo ヘルシンキ大学 講師(母子健康、社会政策)
English*日本語の字幕付き

■コメンテーター 天童睦子(宮城学院女子大学 一般教育部 教授 女性学)

■司会 宮城学院女子大 学生 赤間芽依、工藤真由

日本―スウェーデン国際シンポジウム(10月)、デンマークの保育・教育セミナー(11月)に続き、12月は、フィンランド、ヘルシンキ大学の研究者で母子健康の社会政策の専門家、アンナ・レッポさんをゲストに迎えてセミナーを開催します。子育て支援の先進的取り組みで知られるフィンランドでの調査をふまえて、出産・育児をめぐる最新の研究成果をうかがう機会です。

日本からは、子育ての比較文化人類学で著名な木脇奈智子さん(藤女子大学教授)に発言いただきます。出産・育児の国際比較、北欧の生活文化、日本の子育て支援等に関心のある方々、どうぞご参加ください。

無料
事前申込制

主催 宮城学院女子大学 地域子ども学研究センター

TEL:022-227-6207 Mail:childfuture-c@mgu.ac.jp

参加ご希望の方は下記あてにメールでご連絡ください(12月9日17時まで)。ZoomのURLをお送りします。

問合せ先:天童睦子 tendo@mgu.ac.jp